

社会福祉法人あと会 事業報告

法人基本理念

・本年度も法人全職員を挙げて、法人基本理念である「3Y のころ」に沿って、施設サービス・在宅サービスにつとめ、地域または施設在住の高齢者の生活支援を実施した。また職員もこの理念に沿った職場作りをし、いきがいのある人生を送れるよう体制作りを努めた。

事業方針

・事業方針に従い、法人サービスご利用者の方々に、より充実した個別サービスを提供し生活の満足度を実感していただくべく努めた。また今年度は、南区出島に特別養護老人ホーム・介護つき有料老人ホーム「でじま・くにくさ」開設に向けて、求人活動、PR 活動、新人研修等、開設準備に向けて職種を超えてチーム一丸となって取り組み、平成 24 年 4 月 1 日開設に至った。運営は概ね順調であり、引き続き適正な運営に努める。

運営方針

(1) 特別養護老人ホーム・介護つき有料老人ホーム「でじま・くにくさ」の円滑な開設

・「でじま・くにくさ」の様々な特徴と法人の今までの実績、開設前の内覧会等の相乗効果により、開設 3 ヶ月後には両施設とも満床となり、順調な滑り出しとなった。また、併設のデイサービスセンターにおいては、ナイトデイを実施することにより、幅広いニーズに対応することができ、利用者等の好評を得ている。これとあわせて、平成 25 年 1 月には利用定員を 20 名から 30 名に増員し、利用者の増加に対応しているところである。今後も利用者に評価して頂けるようなサービス提供ができるようにこれからも取り組みたい。

(2) 優秀な人財の確保・人財育成

・今年度も法人独自の就職説明会を「でじま・くにくさ」で行った。8 月と 9 月と 2 月計 2 回の就職説明会の結果、合わせて 86 名の求職者に参加して頂いたが、説明会後の面接希望者の状況は、参加者のうち約 9 割の方が面接を希望された。「くにくさ」ブランドが徐々に浸透しているように思われる。但し、県社協を含めて、人材発掘の取り組みについては民間の企業の参入や民間企業とのコラボレーションもみられ、予断を許さない状況である。当法人の魅力について、求職者に対する情報発信の方法にさらに磨きをかけたい

(3) 職員ひとりひとりの個性に合った育成・配置

・半期に一度の目標面接を継続して実施し、職一人ひとりと上司が向き合うことで、仕事に対するやりがいを高める取り組みを強化した。新規事業所においても少しずつこの取り組みを行い、やりがいを高める取り組みを始めたところである。次年度は法人全体が同じレベル

で実施できるように管理・監督職へ働きかけを取り組んでいく。

(4) 階層別研修の実施

・新規開設した事業所もあり、法人全体の職員で研修を実施することが困難となってきつつある。しかしながら、職員ひとりひとりのキャリアを適切に積み重ねていくため、新人研修以外は各拠点において階層別の研修を実施した。次年度は外部講師を招き、特に主任・リーダークラスの幹部職員の資質の向上に取り組んでいく。

(5) 法人予算計画の適切な執行

・継続性のある施設運営を行うため、老朽化した施設設備の更新計画や建て替え計画の立案が出来るように準備を進めた。新規事業にともなう借入金の増加も視野にいた法人維持資金を算出し、法人目標として掲げ、各部・課の目標を設定した。来年度も、各部・課の目標を達成するための経営指標を各1つずつ設け、より可視化された経営を目指す。

(6) スウェーデン ボロース市との交流によるケアの質の向上

・スウェーデン ボロース市と新たな契約を締結した。平成 24 年 8 月下旬から 3 週間、2 名の現場スタッフを第 1 回実習生として現地実習に派遣し、その後、ボロース市からも市職員 1 名と現場スタッフ 2 名の受け入れを行った。次年度も同規模の人材交流をする予定にしている。

(7) 全職員へのコンプライアンスの徹底

・前年度に引き続き、業種を問わず、全国的に重要視され続けているコンプライアンスの徹底を、職員会議や主任会議等の場を活用し、啓発する。また、研修等を通じて、全職員に関連法令の周知徹底を図る。

